

巻頭言

自律性を獲得して完成に近づくバーチャルリアリ  
ティー……………櫻井研三

総合報告

バーチャルリアリティーを用いた視覚・認知研究  
……………北崎充晃

解説

360度方向に対する視空間注意特性……………原田佑規  
視覚性自己運動感覚と姿勢制御……………藤本花音  
自己運動知覚と安全マージン……………黒田尚輝  
バーチャルリアリティーを用いた歩行の理解と支援  
……………樋口貴広

光学ハイライト

気になる論文コーナー

今後の特集予定

53巻12号「ハイパースペクトルイメージングの技術動向」  
54巻1号「中赤外フォトニクスデバイスと応用の広がり」  
54巻2号「健康長寿社会の実現へ向けた光医療」  
54巻3号「光散乱による微粒子計測の応用」  
54巻4号「高速大容量光通信を支える次世代の光変調器」

53巻10号「次世代の人工現実感を映し出す技術」が無事発行されました。本号は先月号の「光学とバーチャルリアリティーのこれから」に引き続き、光学とXRに関する特集となります。身近なところで体験できる機会が増えてきたXR技術が、今後、もっと発展していくと確信できる興味深い記事でした。

2号続けての編集後記なので、今回はXRに関わる特集号が連続した経緯について紹介したいと思います。「光学」では、毎回一つの特集号について、まず担当の編集委員が特集したいテーマと内容案を提案し、編集委員会にてブラッシュアップしながら企画を決定します。今回の場合、私が特集したい内容として最近興味を持っていたXRに関わる内容を提案したのですが、その打ち合わせで、偶然なのですが当時の編集委員長（宇都宮大学・山本先生）がバーチャルリアリティー学会との合同企画号を考えていたと知らされました。結果として、「それならいっそ連続で特集しよう」という流れになり、このような形となりました。

よい機会だったので、私は9月に名古屋で開催されたバーチャルリアリティー学会大会にも初めて参加してきました。普段、光学を主としている自分でもとても興味を引かれる研究発表が多く、また、参加者の熱気のすごさに驚かされました。多くの本誌読者様はご専門とされる研究分野が確立していることと想像しますが、少し足を運んで異分野融合を模索するのも、また面白いかもしれません。（酒井，森本）

原著論文を募集しています

「光学」では、日本語の原著論文を募集しています。会員・非会員を問わず、自由に投稿できます。皆様の意欲的なご投稿をお待ちしております。

また、上記に加え、特集テーマに関連のある原著論文も募集しています。この場合、採択となった論文はその特集号に合わせて掲載できるよう、査読作業をより迅速化いたします。特集テーマ関連の投稿締切は、当該特集号発行月の4か月前の10日です。特集号を明記のうえご投稿ください。

日本光学会ホームページ <http://myOSJ.or.jp/>

光 学 2024 ©

第53巻 第10号 <月刊>

2024年10月10日 発行

定価1,500円（送料実費）

発行/ 一般社団法人 日本光学会

〒112-0002 東京都文京区小石川2-23-11

常光ビル7F 有限会社学術新報社内

E-mail: [info@myOSJ.or.jp](mailto:info@myOSJ.or.jp)

印刷/ 大昭和印刷株式会社

「光 学」編集委員会

芦原 聡*	的場 修**	内田 美幸	江川麻里子
大平 倫裕	岡野 誉之	奥平 陽介	桶谷 亮介
角田 英俊	金 蓮花	黒坂 剛孝	小林 弘和
酒井 大輔	庄司 暁	瀬谷 安弘	田代 知範
豎 直也	玉田 洋介	張 開鋒	角井 泰之
中川 桂一	中山 雄太	日達 研一	藤井 瞬
藤井 宏昌	藤村佳代子	細木 藍	堀切 智之
堀崎 遼一†	水谷 康弘†	三宅 大助	本山 央人
安田 英紀	矢次 健一	和田 篤	

\*委員長 \*\*副委員長 †光科学及び光技術調査委員長

編集局 新沢佐和美

制作/ 有限会社学術新報社

電話 03-3816-3991 Fax 03-3816-3992

E-mail: [kogaku@academic-j.co.jp](mailto:kogaku@academic-j.co.jp)